

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和4(2022)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
-----------------	------------------	------------	-----------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の概要	<p>1 法人の事業概要 【公益目的事業】 (1) 緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業 (2) 公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業 【公益目的事業の推進に資するために実施する収益事業等】 駐車場及び売店等の経営</p> <p>2 法人の設立目的 緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進、潤いと安らぎのある街づくりを行うことによる地域社会の健全な発展への寄与</p> <p>3 法人のミッション (1) 民有地の緑の保全及び緑化の普及啓発と市民の緑化意識の向上、市民による緑の街づくりの推進 (2) 緑のボランティアセンター機能としての、緑のボランティアの育成、活動支援の充実 (3) 公園緑地施設等の円滑な運営と健全な利用の増進 (4) 行政との協働により、市民の窓口となり市民ニーズを踏まえた多様な事業展開ができる緑の情報発信基地としての機能を果たし、緑豊かな潤いと安らぎのある街づくりに寄与すること</p>								
本市施策における法人の役割	<p>市の緑地等に関する事業及び民有地の緑化に関する事業の推進に協力し、公園緑地の円滑な運営及び健全な利用の促進並びに市民の緑化意識の向上を図ることによって緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与するとともに、ボランティアセンターとしての機能を付加することで、市民活動拠点として充実させること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のボランティア育成及び持続的な活動の支援 ・民有地に対する助成事業を行い、緑の保全、緑化の推進及び緑化意識の向上 ・公園緑地施設等の管理運営 								
	法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">政策</th> <th style="width: 50%;">施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>政策3-3 緑と水の豊かな環境をつくりだす</td> <td>施策3-3-1 協働の取組による緑の創出と育成</td> </tr> <tr> <td colspan="2">川崎市緑の基本計画【H30～R9】</td> </tr> </tbody> </table>	政策	施策	政策3-3 緑と水の豊かな環境をつくりだす	施策3-3-1 協働の取組による緑の創出と育成	川崎市緑の基本計画【H30～R9】	
政策	施策								
政策3-3 緑と水の豊かな環境をつくりだす	施策3-3-1 協働の取組による緑の創出と育成								
川崎市緑の基本計画【H30～R9】									
現状と課題	<p>【現状】 「川崎市緑の基本計画」に基づき、市民との協働による都市緑化の推進と緑のボランティア活動支援に取り組み、各種講座、コンクール、イベント等を実施しています。また、公益目的事業の推進、公益財団法人としての自立的な経営に向けて、事業の簡素化、効率化、収益事業の拡充、組織再編等を図り経費削減に努めています。</p> <p>【課題】 協会は、定款記載の公益財団法人としての目的を達成すべく緑に関する事業を円滑に実施する法人運営をしていきたいと考えています。そのために緑のボランティアセンターとして現在継続している緑のボランティアの育成と支援を行う活動拠点を中心とした事業運営を推進し、多様な主体が参画するグリーンコミュニティの形成を図ることが必要であると考えています。また、等々力緑地再編整備事業の影響を踏まえ、協会自主財源の主である収益事業の減収を見据えて、安定した事業収益の確保と協会事業運営が今後の課題であると考えています。</p>								
取組の方向性	<p>(1) 経営改善項目 等々力緑地再編整備事業の影響による事業収益の減収を逡減させるため、自販機の増設による収益事業の拡充や等々力陸上競技場を主担当としている職員の人員配置等について調整を行い経営改善に向けて、事業の簡素化・効率化を図ります。</p> <p>(2) 連携・活用項目 「川崎市緑の基本計画」における各施策について、これまでの取組の継続に加えて、以下の観点を踏まえ、法人の役割を確認しながら連携・活用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のパートナーとして多様な主体との連携、促進を図り、「緑育」という視点で、特に次世代を担う子供たちに対する活動支援 ・緑の空間の持続的な保全・創出・育成という観点から、緑化助成制度の更なる普及と充実 ・グリーンコミュニティ形成の観点から、ボランティアセンター機能の活用と身近な公園における多様な主体の参加による取組を踏まえた地域コミュニティ形成、柔軟な利活用 								

本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

4カ年計画の目標

○地域社会の健全な発展に寄与するため、緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進を図り、潤いと安らぎのある街づくりを行います。

○「緑化推進・普及啓発事業」「緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)」「公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業」の3つを柱に、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、法人を市民等の緑の活動支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として位置づけ、令和6年度の都市緑化フェアに向けた連携を図りつつ、緑に関する事業運営を推進拡充していきます。

○等々力緑地再編整備事業による影響を踏まえ、経常収支比率の改善及び正味財産額の逓減抑制に向けて、収益事業の見直しを実施し自己収入の確保に努めるとともに等々力陸上競技場の職員の人員配置等について調整を行い、効率的かつ安定的な業務を実施できるよう協議、調整をしていきます。また、今後の事業運営のあり方について検討を行います。

1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和4 (2022)年度)	実績値 (令和4 (2022)年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	緑化推進・普及啓発事業	ホームページアクセス回数	24,722	15,200	29,301	回	a	A	II
		緑化推進事業等助成件数	1,443	1,090	1,270	件	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	48,666 (51,031)	52,000 (55,600)	52,729 (52,947)	千円	2)	
②	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)	各種講座受講者数	2,113	2,500	2,839	人	a	A	II
		緑の人材バンク新規登録者数	13	13	27	人	a		
		緑の活動団体新規登録数	6	12	14	団体	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	51,290 (67,850)	49,230 (70,900)	51,857 (65,655)	千円	2)	
③	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業	各種イベント等参加者満足度	94.0	95.0	98.0	%	a	A	II
		ばら苑来苑者数	68,145	74,500	76,768	人	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	194,596 (187,525)	196,827 (200,246)	202,777 (190,091)	千円	2)	

2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和4 (2022)年度)	実績値 (令和4 (2022)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	運営の自立性の向上	経常収支比率	106.4	105.7	111.0	%	a	A	II
		正味財産額の推移	562,932	561,502	612,768	千円	a		

3. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和4 (2022)年度)	実績値 (令和4 (2022)年度)	単位	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	効率的・安定的な執行体制の構築	常勤役員員の人数	21	20	19	人	a	A	II

【※1】a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

（行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上）

【※2】A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

【※3】(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

【※4】I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】



法人及び本市による総括

【令和3(2021)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種講座やイベントを全て計画どおり開催することができない状況の中、講座やイベント開催には、十分な安全対策を講じながら実施することにより、講座受講者数の確保とイベント参加者満足度の向上に取組みました。また、令和3年度にホームページをPC版からスマホ版に替えたことが市民に浸透しはじめ、フェイスブックやQRコードの活用、WEBによる講座申込みなどITによる利便性が向上し、広報誌やチラシ、パンフレットなど紙媒体との連携を図ることにより各種講座やイベント情報、緑の活動団体の取組みなど協会事業の周知に繋がり、緑の活動団体、人材バンクの新規登録に繋げることができました。

令和5年度から始まる等々力緑地再編整備事業の影響により大幅な収益減に伴い協会の経営の健全化、業務・組織につきましては、引き続き事業の効率化と適正な人員配置に努め、収益事業の新規拡充にも取組みました。令和6年度に開催する緑化フェアに向けては、協会が持つノウハウ等を活かして担える役割について提案しながら、市と協議・検討を進めました。

【令和4(2022)年度取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

広報手段として紙媒体だけでなくホームページ、フェイスブックなどの電子媒体を活用して幅広く周知を行い、緑化推進・普及啓発事業の振興に寄与したこと、QRコードを活用して簡易的にWEBで講座申込みができる環境を整え利便性を向上させたこと、十分な安全対策を講じた上で各種講座を開催したり新たな取組にチャレンジしつつ積極的に屋外イベントを実施して参加者満足度を向上させたことは評価します。

運営の自立性の向上については、協会の事業運営のあり方として、現行事業の必要性や最善の実施方法、収入確保策や支出抑制策の検討と併せて、組織のあり方についても、検討し持続可能な体制を構築することを期待します。また、令和6年度に開催する緑化フェアに向けては、協会が持つ、各種ボランティアとのネットワーク等を活かして、市民総参加型の緑化フェアの実現に向けての役割を期待します。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
----------	------------------	-----	-----------------

1. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和4(2022)年度)

事業名	緑化推進・普及啓発事業
計画 (Plan)	
現状	緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の発行からフェイスブックやホームページの活用まで幅広い広報活動を展開し、緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・緑化助成金等)を周知することにより、地域の緑化と市民の緑化意識の高揚を図るとともに、花と緑あふれる潤いのある街づくりに努めています。
行動計画	広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体からホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、更にフェイスブック等により、リアルタイムに情報を提供、共有するとともに、広く市民に緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・緑化助成金等)を周知し拡充することに努めます。
具体的な取組内容	<p>【指標1関連】 チラシ等へのQRコードの活用によりホームページ閲覧の拡充に努めます。また、スマホ対応型にリニューアルしたホームページやフェイスブックを幅広く活用し、リアルタイムな情報発信の提供を充実することにより、ホームページアクセス数の向上に努めます。</p> <p>【指標2関連】 広報の手段として広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙の拡充を継続し、協会の公益目的事業である緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・生垣づくり・屋上壁面緑化等)を周知拡充し、各種助成件数の向上に努めます。</p>

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 令和4年度のホームページのアクセス数は、昨年度と比べ4,579件増加し、29,301件となりました。令和3年度にホームページをPC版からスマホ版に替え、それが市民に浸透し始めたこと、各種チラシにQRコードを掲載したこと、「花と緑のまちづくり講座」及び「こども黄緑クラブ」の2講座の申し込みをWEB上で可能にしたこと、ホームページやフェイスブックの見やすさを意識し、写真掲載を増やすとともに簡潔な文章を心掛けたこと、広報誌、チラシ、パンフレット等を学校や活動団体など市民への配布・周知を徹底したことが挙げられます。</p> <p>【指標2関連】 「思い出記念樹」のチラシにQRコードを掲載したこと、16種類の記念樹が見れるスマホ対応型ホームページに環境を整えたことが浸透し始めたこと、また、チラシの配架依頼を直接行政機関に依頼したことで、緑化推進事業等助成件数は1,270件になりました。</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	ホームページアクセス回数	目標値		15,200	15,300	15,400	15,500	回
	説明 協会ホームページアクセス回数	実績値	24,722	29,301				
2	緑化推進事業等助成件数	目標値		1,090	1,115	1,120	1,125	件
	説明 緑化推進事業等を目的に行う各種助成総件数(思い出記念樹・生垣づくり・駐車場緑化・屋上・壁面緑化)	実績値	1,443	1,270				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として広報誌・チラシ・パンフレット・タウン誌等の発行と配布からホームページやフェイスブックなどWEBの活用まで幅広い広報活動を展開しました。令和4年度には、新たにボランティア講座2講座のWEB申込みを可能にしたほか、チラシにもQRコードを掲載し、ホームページへのアクセスを容易にした結果、ホームページアクセス数が昨年度と比べ4,579件増加し、29,301件となるなど、目標値を大きく上回り、みどり事業全体の周知に繋がりました。

また、「思い出記念樹」のチラシにQRコードを掲載したこと、16種類の記念樹が見れるスマホ対応型ホームページに環境を整えたことが浸透し始めたこと、また、チラシの配架依頼を直接行政機関に依頼した結果、緑化推進事業等助成件数は1,270件となり、目標値を上回り、緑化の推進や支援の充実に繋がりました。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A ホームページアクセス数については、新たに「花と緑のまちづくり講座」及び「こども黄緑クラブ」のチラシにQRコードを掲載するとともにWEB申込みを可能とするなど、ホームページへのアクセスを容易にすること、フェイスブックの見やすさを意識し、写真掲載を増やすとともに簡潔な文章を心掛けた結果、実績値が目標値を上回った。また、緑化推進事業等助成件数についても関係各所への周知を積極的に行うとともに、QRコードの活用を継続し、スマホ対応型ホームページに環境を整えたことが浸透し始めた結果、実績値が目標値を上回り、緑化推進・普及啓発事業の振興に寄与したため。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	52,000 (55,600)	52,729 (55,800)	52,729 (55,800)	52,729 (55,800)	千円
	説明 本市財政支出 (直接事業費)	実績値		48,666 (51,031)	52,729 (52,947)			

行政サービスコスト に対する達成度	2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

緑化推進・普及啓発事業等を広報する手段としてITの活用など様々な取組みを行うことにより思い出記念樹や緑化推進に関わる助成金申請等の周知を拡充することができました。また、ボランティア講座申し込みに係るIT化や職員のマルチタスク化を一層推進することにより、事業運営の効率化と経費の削減に努めましたが、緑化資材の高騰や思い出記念樹の助成件数が見込みより増えた影響もあり、行政サービスコストは目標値を超えています。

本市による評価	費用対効果 「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2) 行政サービスコストは、目標値を超えたものの、施策推進に関する各指標の目標値を上回り、緑化推進・普及啓発事業の振興に寄与したため。

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
----------	------------------	-----	-----------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和4(2022)年度)

事業名	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)
計画 (Plan)	
現状	グリーンコミュニティ形成に向け、緑のボランティアの育成と活動団体の支援を図り、応募方式等による各種講座・出前講座等を開催し、緑のボランティアの育成と技術向上を図るとともに、講座修了者に協会人材バンク(令和2年度206人)への登録と緑の活動団体(令和2年度268団体)新規登録を推進し、市民の緑化意識向上に努めています。
行動計画	緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座等の内容の充実を図り、受講者数を増やすとともに、受講者の技術向上を推進します。そして講座修了者を協会人材バンクに登録し、各種イベントボランティアや各地域で活躍できる人材育成を行うことにより緑の活動団体の新規登録を増進し、市民の緑化意識向上に努めます。また、身近な公園等における、多様な主体の参加による取組を踏まえた地域コミュニティの形成を進めます。
具体的な取組内容	<p>【指標1関連】 緑化推進・支援事業で行われている各種講座(花と緑のまちづくり講座・里山ボランティア育成講座・花壇ボランティア実践講座、こども黄緑クラブ)の内容の充実を図り、受講者数の増加に努めます。また、講座申込みなどにおいては、WEB対応を強化し、若い世代が参画しやすくなるよう、利便性の向上と効率的な事業遂行を図ります。</p> <p>【指標2関連】 各種講座の受講者数を増やし講座期間中に人材バンク登録の周知や働きかけを行うなどにより、講座修了者の協会人材バンクへの新規登録者増に努めます。</p> <p>【指標3関連】 市主催のイベントや協会の出前講座・活動支援等に人材バンクのボランティアを派遣する機会を増やし、現場での技術指導と経験を積むことにより、ボランティアのスキルアップと地域で活躍できる人材育成を行い、緑の活動団体の新規登録に繋がる取組に努めます。また、ホームページやフェイスブックで緑の活動団体登録と助成制度の説明等をアップし、リーフレットを作製し市内公共施設等に配付するなどにより、緑の活動団体の周知に努めます。区役所主催等で開催される花と緑に関する会合などにも参加しPRを図ります。</p>

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 令和4年度は、コロナ禍の中、各種講座を実施するにあたり室内では、消毒・マスク着用を徹底し、屋外でもマスク着用をお願いし、安全対策を講じることで、多くの講座を計画どおり実施することができました。講座内容について、毎年のテキストの内容改定を行い、受講者アンケートの結果を取り入れて改善しており、また、講座申込みも新たに2講座(花と緑のまちづくり講座・こども黄緑クラブ)をWEB申込みできるようにして若い世代や多くの方々にご利用しやすい環境整備に努めました。年間講座回数は173回、前年度より28回増え、受講者数も2,839人、前年度より726人の増となりました。</p> <p>【指標2関連】 花と緑のまちづくり講座・里山ボランティア実践講座修了者を対象に協会人材バンクへの登録をお願いしています。人材バンクに登録しているボランティアさんに各種イベントや講座のお手伝いをしていただき、講座の中で人材バンクの必要性や役割について、直接携わる立場として受講生に説明してもらい、理解を深めていただいたうえで登録をお願いするよう努めました。</p> <p>【指標3関連】 緑の活動団体のリーフレットを作製し、区役所や市民館などの配布を継続し、協会の実施している各種講座の中で緑の活動団体の必要性をお話しし、各区道路公園センターと連携を図り99回の出前講座や活動支援を通じて周知を徹底したり、協会ホームページやフェイスブックを活用し、交流事業と題して年間28の緑の活動団体を訪問した様子をアップするなど、新規登録団体数の増加に努めました。</p>
-----------------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	各種講座受講者数	目標値	/	2,500	3,850	3,900	3,950	人
	説明 緑のボランティア育成と活動支援を目的に協会が主催する各種講座受講者数	実績値	2,113	2,839				
2	緑の人材バンク新規登録者数	目標値	/	13	16	17	18	人
	説明 イベントの講師、花と緑の相談員、出前講座、活動支援等に活用する人材バンクの新規登録者数※R4個別設定値: 12(現状値の95%)	実績値	13	27				
3	緑の活動団体新規登録数	目標値	/	12	13	14	15	団体
	説明 各地域で里山整備や花壇・プランター等を活用して花と緑のボランティア活動を行う団体の新規登録数	実績値	6	14				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	
指標3 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和4年度は、コロナ禍の影響の中でも安全対策を講じながら、WEB講座申込み対象となる講座を拡大し、若い世代や多くの方々に利用しやすい環境づくりに努め、講座受講者数も2,839人となりました。各種講座の中で緑のボランティアの必要性等の周知を行ったことで、緑の人材バンク新規登録者が増加し、交流事業と題して年間28の緑の活動団体を訪問した様子をアップするなど、協会のホームページやフェイスブックを活用することで、緑の活動団体新規登録数も増加することができました。

	達成状況	区分 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	区分選択の理由 WEB講座申込みの対象となる講座を拡大し、若い世代や多くの方々に利用しやすい環境づくりに努めたり、出前講座や活動支援を通じて、活動の周知を徹底したり、協会ホームページやフェイスブックを活用し、交流事業と題して、年間28の緑の活動団体の訪問した様子をアップするなどの取組により、すべての指標において目標値以上になったため。
		A	

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	49,230 (70,900)	51,857 (71,000)	51,857 (71,000)	51,857 (71,000)	千円
	説明	本市財政支出(直接事業費)		実績値	51,290 (67,850)	51,857 (65,655)		

行政サービスコスト に対する達成度	2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

令和4年度は、コロナ禍の中、安全対策と講座内容・運営の工夫を講じることで、多くの講座を計画どおり実施するとともに、経費の削減を図り、直接事業費は見込みの範囲内におさまりました。一方で、講座開催にあたり、コロナ対策のため例年よりも広い会場を必要としたため会場使用料が増加したことや緑の活動団体を訪問した様子を掲載した緑のボランティア通信を例年よりも2回多く発行したことなどの理由から、行政サービスコストは目標値を超えました。

	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分 (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	区分選択の理由 行政サービスコストは目標値を超えたものの、講座内容・運営の工夫を図ったり、ホームページやフェイスブックを活用して活動状況を広報するなど取り組んだ結果、施策推進に係るすべての指標において目標値を上回ったため。
		(2)	

改善(Action)

実施結果(Do) や評価(Check) を踏まえた 今後の取組の 方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
		II

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
----------	------------------	-----	-----------------

本市施策推進に向けた事業取組③(令和4(2022)年度)

事業名	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業
計画 (Plan)	
現状	収益事業(売店・自動販売機・駐車場)を財源として、独自に展開している各種イベント(自主事業)を実施し、公園緑地及び運動施設並びに生田緑地ばら苑等の利用促進と緑化意識向上に努めています。
行動計画	収益事業の収益を財源として花と緑を中心とした各種イベントを実施し参加者満足度を高め、公園緑地の利用促進と緑化意識の向上と推進、拡充を図ります。また、開催するイベント等の内容を充実させ、公園緑地、運動施設、ばら苑の魅力を周知し利用者の拡充に努めます。
具体的な取組内容	<p>【指標1関連】 今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響の中で、等々力緑地等で実施する各種イベントの開催に当たっては、中原子ども会連合会等地域の関係団体と連携し、協力をいただきながら、可能な範囲でイベントを開催し、アンケートで把握する参加者のニーズ・要望に適切に対処し、満足度向上に努めます。</p> <p>【指標2関連】 生田緑地ばら苑は、春の一般開放時は新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントの中止が想定されますが、秋の一般開放時においては、来苑者の増加を図る目的で野外ライブコンサートのほか、バレエや創作ダンスなど新たに芸術性のあるイベント等を実施する予定です。また来苑者アンケートの内容の充実を図り、来苑者の要望に基づく満足度向上のため、一般開苑中に実施するコンサートや講習会、写真展、ボランティアガイド等のイベントの更なる充実を図るとともに、収益事業(売店の販売品目入替等)の拡充に努めます。</p>

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 令和4年度協会自主事業は、コロナ禍の影響が残る中、安全対策を講じながら、中原子ども会連合会等地域の関係団体と連携協力して、各種イベント、講習会等を積極的に実施しました。アンケートで把握した参加者のニーズ・要望を取り入れ、サッカーフェスタでは、Tシャツの色合いや材質、デザインの変更、イベントのタイムスケジュールの効率化を図りました。また、ばら苑野外コンサートでは、出演者や曲目、演目の変更等の参考として、クラシックからポピュラーな曲目への変更や、音楽だけではなく芸術性を取り入れたバレエの演目を行い、市民満足度向上に努めました。なお、満足度調査は、等々力サッカーフェスタ・ばら苑野外ライブコンサート・シニアのためのウォーキング教室・小学生のためのランニング教室等で行い、屋内で開催するばら苑講習会や500人以上の大人数が集まる新春凧揚げ大会等では、3密を避けるため、実施しませんでした。</p> <p>【指標2関連】 令和4年度の生田緑地ばら苑の一般開放については、コロナ禍の影響で例年の開苑日数より7日間短縮(令和3年度より1日短縮)して実施しました。写真展とボランティアガイドは実施しませんが、3年ぶりに協会自主事業の野外ライブコンサートを開催するとともに、かわさきジャズ2022とのコラボや、バレエや創作ダンスなどのイベントを実施し、花苗や飲食の販売等を行う売店営業を一部再開するなど、来苑者が楽しめる企画を実施しました。それらの成果として、令和3年度来苑者数と比較して8,623人の増となりました。</p>
-----------------------	--


評価 (Check)

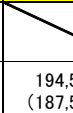
本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	各種イベント等参加者満足度	目標値	94	95	96	97	98	%
	説明 凧揚げ大会、ばら苑講習会、花と緑の講習会などの参加者満足度	実績値		98				
2	ばら苑来苑者数	目標値	68,145	74,500	81,000	81,500	82,000	人
	説明 生田緑地ばら苑における春・秋の一般開放の来苑者数	実績値		76,768				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

各種イベント等参加者満足度については、安全対策を講じながら等々力緑地や多摩川緑地などの屋外イベントを積極的に実施するとともに、各種講座も含めアンケートで把握した参加者のニーズ・要望を取り入れ、市民満足度向上に努めました。また、ばら苑来苑者数については、秋の一般開放時には、新型コロナウイルス感染症影響により中止していた、ばら苑野外ライブコンサートを再開するとともに音楽ライブ以外のチアダンスに加え新たな取組みとしてパレエや創作ダンスなどを実施し、ばら苑来苑者の増加に努めました。これらの努力により、いずれも目標値を達成しました。

 本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値		196,827 (200,246)	72,080 (75,080)	72,080 (75,080)	72,080 (75,080)	千円
	説明 本市財政支出 (直接事業費)	実績値		194,596 (187,525)	202,777 (190,091)			

行政サービスコスト に対する達成度	2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

令和4年度は、等々力陸上競技場の人員配置の見直しなど経費削減に努めました。一方で、ばら苑一般開放時の警備に係る人件費の上昇やばら苑で急遽発生した下水管修繕対応により、行政サービスコストは目標値を超えました。

 本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度)等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2)

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
----------	------------------	-----	-----------------

2. 経営健全化に向けた取組①(令和4(2022)年度)

項目名	運営の自立性の向上
計画 (Plan)	
現状	コロナ禍となる前では、経常収支比率は100%を超え、正味財産額も堅調に推移しておりましたが、令和2年度においては、緊急事態宣言下におけるイベントの中止や駐車場の一時閉鎖に伴い駐車場等事業収益が令和元年度と比較し約5千万円の減収となりました。また、令和5年度から等々力緑地再編整備事業の影響により、駐車場等事業収益の大幅な減収が見込まれるなか、市財政支出割合が高くなる傾向にならないように、新たに収益を確保できる事業を推進し、川崎市からの財政支出割合を低減するように努めています。
行動計画	今後4ヶ年における安定した協会事業運営を行うために、目標値の通減抑制に向けて、自販機の増設など収益事業による自己収入の確保に努めるとともに、等々力陸上競技場を主な業務として担当している職員の人員配置の整理など経費削減策についても継続して検討を行い、公益事業を行える組織体制の構築と経営健全化に伴う財政構造の確立に努めます。
具体的な取組内容	<p>【指標1関連】 令和5年度から始まる等々力緑地再編整備事業の影響により公益目的事業及び収益事業の大幅な減収が見込まれる中、令和4年度は、自動販売機の増設による収益増に努めるとともに、令和3年度退職した正規職員の不補充等による人件費等の経費削減により経常収支比率の向上を図ります。</p> <p>【指標2関連】 収益事業の効果的な運営により経常収益の増加に努めるとともに、効率的な運営による事業費や人件費の抑制による経常経費の削減により、経常増減額を可能な範囲で確保し、一般正味財産の増額に努めます。また、令和5年度を見据え、組織再編による適正な人員配置と経費削減計画により経営の安定化と持続可能な協会運営に向けた検討・取組を進め、正味財産の減少を可能な範囲で抑制します。</p>


実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 令和4年度は、コロナ禍の影響から少しずつ脱却し、イベント等の開催が実施され売店・食堂・自動販売機・駐車場の売上げが増収となりました。また、令和5年度から始まる等々力緑地再編整備事業の影響を考慮し、市内公園緑地へ自動販売機を10基増設するとともに等々力陸上競技場の人員配置を見直し、経費削減にも努めました。その結果令和4年度の経常収支比率の目標を達成することができました。</p> <p>【指標2関連】 令和4年度は、イベントの開催等が増えたことによる収益事業の効果的な運営と事業費・人件費等の抑制を図ることにより、経常収支が増収となり正味財産額の増加に繋げることができました。</p>
---------------	---

評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	経常収支比率	目標値		105.7	84.2	84.3	84.3	%
	説明 事業活動の結果である経常収益とそれに費やした経常費用の割合 ※R4個別設定値:103.4(過年度平均)	実績値	106.4	111.0				
2	正味財産額の推移	目標値		561,502	517,208	473,099	428,925	千円
	説明 出捐者から受け入れた指定正味財産額と本業から得られた過年度経常収支差額の合計額 ※R4個別設定値:544,965(過年度平均)	実績値	562,932	612,768				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)		
令和4年度は、コロナ禍で中止していた各種イベント等が開催され、収益事業の効果的な運営により経常収支の増加に努めるとともに事業費の見直し等経費削減に取り組んだ結果、令和3年度の経常収支比率及び正味財産額実績値並びに目標値を上回りました。		

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

改善(Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
----------	------------------	-----	-----------------

3. 業務・組織に関する取組①(令和4(2022)年度)

項目名	効率的・安定的な執行体制の構築
計画 (Plan)	
現状	令和3年度は常勤役員2名及び常勤職員19名の計21名で事業運営業務を行っています。
行動計画	公益的目的事業の推進をするにあたり、緑のボランティアの育成と支援を行う活動拠点を中心とした事業運営を実施します。その上で等々力緑地再編整備事業の実施に伴い、等々力陸上競技場を主な業務として担当している常勤職員について、退職者の不補充により少なくとも3名の削減をするなどの適正な人員配置計画の策定を行い、協会組織のスリム化を図るとともに、当該計画に基づき、引き続き、効率的かつ安定的な業務遂行に努めます。
具体的な取組内容	令和5年度から始まる等々力緑地再編整備事業の影響による協会事業の縮小に伴い、令和4年度は、経営の健全化と組織体制を再検証し、事業の簡素化・効率化に取組み、持続可能な体制と人員配置に努めます。また、令和3年度末に定年退職した正規職員の新規採用は実施しない予定です。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <p>令和5年度から等々力緑地に指定管理が導入される影響を考慮し、等々力陸上競技場の嘱託職員2名退職に伴う補充は行わず、臨時職員を補充し、経費削減と人員配置の見直しを行いました。</p> <p>また、令和3年度末に正規職員が1名定年退職しましたが、現在の協会の財政状況を鑑みて、新規採用は実施しませんでした。退職した職員の担当業務については、効率的な職員配置や既存職員による兼務等に対応しました。</p>
---------------	---

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	常勤役職員の人数	目標値		20	17	17	17	人
	説明 年度当初の常勤の役員及び職員の人 数	実績値	21	19				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
----------------	---	---

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和5年度から始まる等々力緑地再編整備事業の影響による協会事業の縮小に伴い、令和4年度は、経営の健全化と組織体制を再検証し、役員を含めた職員全員のマルチタスク化の意識向上に努め、1課の強みを発揮し情報の共有化を図り、事業の簡素化と効率化に繋げ、持続可能な体制と人員配置に努めました。



区分	区分選択の理由
達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 経営の健全化と組織体制を再検証し、事業の簡素化・効率化に取組んだ結果、目標人数内での人事配置となり、目標を達成したため。

改善 (Action)

	方向性区分	方向性の具体的内容
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">II</div> <p>今後も経営の健全化と組織体制を検証し、事業の簡素化・効率化に取組み、持続可能な人員配置に努めてまいります。令和5年度から始まる等々力緑地再編整備事業により、等々力緑地の収益事業がなくなることから、現在の補助金及び自主財源だけで、協会が担っている緑化推進やボランティア事業等の市の緑政行政を持続的に実施するために最低限必要な経費を補うことは、非常に困難な状況です。今後は、各事業の効果や役割を再検証し、重複事業の見直しや、より効率的な実施方法の検討を行うなど、市と幅広く協議してまいります。</p>

法人(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
---------	------------------	-----	-----------------

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)					
	経常収益	473,597	504,451			
	経常費用(事業費)	425,916	434,498			
	経常費用(管理費)	19,383	19,897			
	うち減価償却費	2,599	3,920			
	当期経常増減額	28,298	50,056			
	経常外収益					
	経常外費用					
	税引前当期一般正味財産増減額	28,298	50,056			
	当期一般正味財産増減額	28,078	49,836			
(指定正味財産増減の部)						
当期指定正味財産増減額						
正味財産期末残高	562,932	612,768				
貸借対照表	総資産	693,601	808,270			
	流動資産	211,897	256,505			
	固定資産	481,705	551,765			
	総負債	130,670	195,502			
	流動負債	63,551	118,115			
	固定負債	67,118	77,386			
	正味財産	562,932	612,768			
指定正味財産	131,000	131,000				
一般正味財産	431,932	481,768				
主たる勘定科目の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
経常収益	駐車場等事業収益	174,274	190,828			
経常費用	人件費(事業費+管理費)	133,396	132,447			
総資産	特定資産	187,118	254,320			
総負債	有利子負債(借入金+社債等)	2,216	5,423			

本市の財政支出等(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金		99,955	104,586			
負担金						
委託料		194,596	202,777			
指定管理料						
貸付金(年度末残高)						
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)						
出捐金(年度末状況)		131,000	131,000			
(市出捐率)		100.0%	100.0%			
財務に関する指標		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		333.4%	217.2%			
有利子負債比率(有利子負債/正味財産)		0.4%	0.9%			
経常収支比率(経常収益/経常費用)		106.4%	111.0%			
正味財産比率(正味財産/総資産)		81.2%	75.8%			
経常費用に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常費用)		66.1%	67.6%			
経常収益に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常収益)		62.2%	60.9%			

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
令和4年度は、コロナ禍の影響から少しずつ脱却し、各事業もコロナ禍以前の水準並(一部中止等)で実施することができ、また、収益事業についても順調に回復し、経常収益は、増収となりました。 当期一般正味財産増減額は、各事業をコロナ禍以前並に実施したことによる経常費用の増加もありましたが、令和5年度から始まる等々力緑地再編整備事業の影響を踏まえ、人件費等の経費削減に取り組み、経常費用の増加を抑えたこともあり、前年度に比べて約2,000万円の増収となりました。 しかし、令和5年度予算については、等々力緑地からの事業撤退の影響が大きく、約4,600万円の赤字を見込んでいます。	緑行政を取り巻く環境が変化してきていることを踏まえ、市と協議のうえ令和5年度中に新たな協会のあり方を決定し、令和6年度以降その役割を全うするための体制を整えてまいります。 令和5年以降見込んでいる年間約4,600万円の赤字解消に向けて、効果の見えにくい事業や重複する事業の廃止を含めた見直しを進めるとともに、自動販売機の設置台数を増やすなど収益事業を拡充してまいります。また、収支改善効果に加え、協会の事業の活動拠点として期待できる緑化センター等指定管理事業への積極的な参加のために、準備を進めてまいります。 令和6年度開催の緑化フェアに向けては、協会の持つ知識や緑のボランティアを活かすとともに、市民協働による参加を目指し、主体的に市と連携して、機運を醸成してまいります。	今後の緑行政においては、緑化やみどりの保全、利活用について、市民をはじめとした多様な主体との協働推進がますます重要になってくるため、協会には、個々で活躍しているそれら多様な主体を繋ぎまとめて、相乗効果を生み出す役割を担うことを期待しています。 一方で、令和5年度収支に大幅な赤字が見込まれることから、多摩川駐車場料金の見直し等更なる収支改善に取組み、効率的な協会運営を行うことを期待するとともに、経営基盤の安定のために市としても適正に管理監督を継続してまいります。 令和6年度に開催予定である緑化フェアに向けては、協会が持つ、各種ボランティアとのネットワークを活かして、市民総参加型の緑化フェアの実現に向けての役割を期待します。

(2)役員・職員の状況(令和5年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	3	0	2	6	0	0
職員	14	0	1	0	0	0

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解

・理由

・今後の方向性